

2023年3月27日 ツツザキヤマジノギク播種作業を行いました。

ツツザキヤマジノギク保全協議会

3月18日(土)に予定していた播種作業は、雨天のため延期とし、27日に10時に現地へ集合して実施しました。平日の昼間の時間帯でしたが、14名の皆様に参加いただきました。

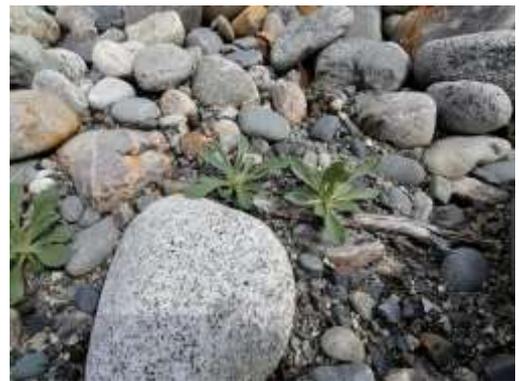
種は、昨年12月に同じ場所で採取したもので、専門家の皆様のご協力をいただき、量や数も管理し、昨年同時期に巻いたものより多くの数量を蒔きました。

種を蒔く保全地は、既に小石の間に昨年蒔いた種から、ロゼットがいくつか見られました。

秋には、多くの皆様と、天竜川や中央アルプスの風景に溶け込む、ツツザキヤマジノギクに遭えることが楽しみです。そのために今後雑草に負けないよう管理していくことが課題です。

現在、手を加えた保全地にはまとまった個体が確認されていますが、他の場所では、わずかししか確認できていません。

今回、そのわずかに確認している天竜川河川敷の一部まで観察に行けるよう、河川管理者が道を作ってくださいました。



この道を数人で歩いてみると緑の芽吹きや小鳥なども観察でき、散歩コースとしても、楽しいと思いました。また、この散歩コースの先には、河川敷に自らの力で残るツツザキヤマジノギクがわずかですが観察でき、この種の生命力を感じることができます。

天竜川河川敷の多様な姿を観察できるのどかな空間で、春のこの時期の散歩コースとしてもおすすめです。